



# 森小学校だより

令和4年1月7日

学校だより NO.12

## 第3学期 始業式 校長の話より



明けまして おめでとうございます。

よいお正月を迎えられたでしょうか。新学期となり、寒い朝ですが皆さんと会えてうれしく思います。今朝は困った鳥の話をしてします。

昔々、インドという国の山奥で、とても雪の多いところに寒苦鳥という鳥が住んでいました。雪山に住み、寒さに苦しむということで「雪山の寒苦鳥」と呼ばれていました。この鳥はと

ても怠け者で、普通の鳥は自分たちで力を合わせて木の枝や枯れ葉などを集めて巣を作るのですが、寒苦鳥は自分の巣を作らないのです。昼は太陽の光が当たり、山は暖かくなります。他の鳥たちと陽気に歌ったり、遊び回ったりします。夜になると他の鳥たちは巣に帰りますが、寒苦鳥は木の枝に止まって羽を休めるだけです。寒い雪山なので、夜と昼とでは大きく気温が違い、厳しい寒さが襲ってきます。寒苦鳥は昼間遊んでばかりいたことを後悔し、メス鳥は、寒くてたまらないと一晩中泣いていました。オス鳥は、夜が明けたら巣を作ろう。と固く決心をしました。しかし、そんな苦しい思いをしても、夜が明けて暖かくなるとそのことをすっかり忘れてしまい、また、一日中いつもと同じように遊び回ります。寒苦鳥は何度も何度も同じことを繰り返してしまい、結局、巣を作ることができません。いつも「明日はやろう。」と思って反省はしますが、巣を作ろうとする行動に移せないのが寒苦鳥なのです。

この話を聞いて、心当たりがある人はいませんか。私もそうですが、誰でも「その気になればできるから、もう少し後からにしよう。」と考えることがあると思います。新年を迎え、1年の始まりです。そして、3学期のスタートです。これまで頑張ってきたことをさらに積み重ねて努力しようとする人がいますね。また、6年生は小学校最後のまとめをしようと思ったり目標をもつ人や1年生から5年生では、次の学年に向けてチャレンジしようと思ったり考える人もいます。どんな人にも寒苦鳥のように「怠ける心」はあります。しかし、怠け心に打ち勝って、やるべきことをしっかりとやるのが大切です。自分のめあてをしっかりと持って取り組んでいってください。皆さんに期待しています。

